

今後の地域協議会活動に向けて

地域協議会の活動活性化に向け、令和4年度から、推進市民会議において4回にわたり、9地域協議会から、各地域の活動の現況や自慢、今後の課題（悩み）などを聞き、委員の皆さんと現場で活躍する地域協議会との情報共有と、委員の専門的な知見から具体的なアドバイスなど意見交換を行った。

その後、2回にわたり、各協議会に取り組んでほしい素晴らしい活動と共通する課題について、委員で意見を交わし、次の視点等を得ることができた。

■委員の皆さんの意見から得た視点

1. 取り組んでほしい素晴らしい活動

(1) 特徴 1 着眼点

①地域課題に沿った活動、②地域の財産の活用

地域の財産（人・物など）を活かした、地域課題の解決が、交流、住民の安全・安心な暮らしにつながる。
そのために、継続的に地域課題と地域の財産を把握していくことが必要。

委員のご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活以外に、ボランティア活動に参加したり、自分と違う世代の人と話したりすることも良いと思う。 ・地域協議会は、地域団体の先輩である区に困りごとを聞くと、いろいろな課題が分かるかもしれない。 ・小学校の敷地内の畑で農作物を育てており、青空市場をやっている。小学校自体が地域の財産だと思う。 ・こども食堂を軸にして、耕作放棄地でできる人が農作業して、地元の野菜で食べきれない分を食材として使うなど、循環していくと良いと思う。
協議会が取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題と地域の財産について、継続的に把握する。

(2) 特徴 2 積極的な連携・効率化

①他団体・企業との積極的な連携、②事業の効率的な実施

連携には、地域の団体・企業のニーズを知り、地域協議会側が何をできるのかという視点が大切。そのために地域協議会自身の強みを知ることが必要。

委員のご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にどんな団体があるかを知ることが大切。 ・企業・団体との連携は、地域協議会が何を協力できるのかという視点が大切。
協議会が取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・連携の機会・場づくり。 ・各地域協議会の強みを知る。

2. 抱える課題

①仲間を増やすためには、②もっと気軽に活動を、③地域協議会に関心を持ってもらうには

やりがいの共有と簡単な活動から参加できる仕組みづくり、あわせてPR活動による認知度向上が必要。

委員のご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・参加して良かったと思ってもらうために、魅力ある取組み、地域の特性・特徴を生かした取組み、特技等を生かした取組み ・楽しいこと、やりがい、成功体験の共有 ・参加対象により、活動時間を変える。参加しやすい仕組みにする。 ・大きなイベントで、対面で活動をPRする。 ・住民のニーズを知る。 ・地域の方に寄り添うことができる活動を紹介する。
協議会が取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の動機付け、地域協議会活動に参加しやすくする。 ・継続して、認知度向上に取り組む。

④ 地域協議会で伸ばしていきたいこと（こども・お年寄りが暮らしやすい地域にしていくには）

地域の特性に応じた課題解決の仕方でよい。できることの積み重ねを続けていく。

委員のご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂に多くの関心が集まった。食で人がつながりやすい。こどもというテーマは地域課題となる一方、つながりが生まれやすく、人が集まりやすいテーマだと思う。 ・「近助」というワードに関心が集まった。「近くで助け合う」ことが、暮らしやすい地域につながると思う。いきなり多くの人とつながることはできないので、まずは近所同士でつながっていくことが大切だと思う。 ・地域福祉的活動は重要であるが、地域特性に応じて各地域協議会が取り組んでいけることが大切。
協議会が取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性に応じて、できることを積み重ねる。

■ 課題に対する取組み

3. 今後の取組み

挙げられた課題を整理すると、地域の地域課題・財産を知ること、連携の場づくり、地域特性に応じた地域課題の解決のほか、地域協議会に参加しやすくすることなどの意見が出され、地域のニーズを把握し、地域課題に取り組んでいくことが求められていると考えられます。

また、地域協議会活動における人員の確保に苦慮しており、地域の他団体・企業との連携も必要だとの意見もありました。

地域協議会は、既に各小学校区において特色のある活動を行い、組織体制や地域団体との連携状況等も異なっているため、各協議会に合わせた形で、できることを積み重ねていくことが、活動の広がりにつながっていくと考えます。

検討事項	協議会が取組むこと
・地域課題に沿った活動・地域財産の活用をするために	・地域課題と地域財産（物・場所・人）について、継続的に把握する。
・他団体・企業との積極的な連携および事業の効率的な実施をするために	・連携の機会・場づくり ・各地域協議会の強みを知る
・仲間を増やすために ・関心をもってもらうために	・参加しやすくする ・住民ニーズを知り、認知度向上に取り組む
・子どもやお年寄りが暮らしやすい地域にするために	・地域特性に応じて、できることを積み重ねる。

これらをまとめますと、具体的に下記のような取り組みが有効であると考えます。

協議会の取り組み

- ・各地域協議会で、地域住民・団体・企業などを交えた地域づくりミーティングの開催
- ・地域特性に応じた活動プラン（地域ビジョン）づくりと共有

市の支援

地域協議会での地域づくりミーティングの開催、活動プラン（地域ビジョン）づくりを支援するほか、認知度向上のため、協議会活動・事業のPRのための取り組み、地域協議会活動の手引きの改訂なども進めていきます。